

映画ドラえもん のび太と夢幻三剣士

前田達彦

■はじめに

おすすめの一話として、今年は「映画ドラえもん のび太と夢幻三剣士」を挙げたいと思います。一話なのか？と言われても自分の中では一話です。夢の中でヒーローになる、お姫様になる、空を飛ぶ…夢の世界にあこがれた事ってありませんか？「夢幻三剣士」はのび太たちが夢の世界で剣士となり活躍する、そんなお話です。

【あらすじ】

夢の中で黄金ハットになりしずかちゃんを助け、ジャイアンたちに招待をばらす…ところで目が覚めるのび太。同じ夢を見たい！というのび太に押され、一度断るもののドラえもんは「気ままに夢見る機」を出す。夢見る機の夢で寝坊したのびが大慌てで裏山で宿題をしていると、奇妙な老人が現れる。その老人からもらった木の実を食べると宿題があったという間に終わり…という夢から覚めるのび太は落胆するが、なんと宿題は全問正解。帰り道に再び老人が現れ「きみはもっともっとすばらしい力をさずかるのです。ただし、『夢幻三剣士』の世界でのことだが」と言い残していく。その晩、気ままに夢見る機のカセット「夢幻三剣士」の夢世界に入り剣士となるのび太。しかし夢見る機の隠しボタンにより、夢と現実の世界が交差していく――。

「夢幻三剣士」はアレクサンドル・デュマ・ペールによる小説「三銃士」がもとになっています。ダルタニャン→ノビタニヤン、ボルトス→ジャイトス、アラミス→スネミスと名前をもじっていて面白いですね。夢の世界の冒険ー。ドラえもんの世界ではありそうで無かった舞台設定です。夢幻三剣士の舞台は「ユミルメ王国」、姿はしずかちゃんに似たおおざっぱな性格の妖精シルクに案内され、白銀の剣士となり妖霊大帝オドロームを倒すと説明されます。話を飛ばすと白銀の剣士となったのび太はなんやかんやで妖霊オドロームを倒しハッピーエンドなのですが…

■夢、ゆめ、ユメ

この作品の好きな点は「舞台がのび太の夢世界」「ドラえもん・のび太・しずかちゃん・ジャイアン・スネ夫がそろわずラスボスに勝つ」「ハッピーエンド？」の3点にあります。いや、好きな点はもっとあるのですが（笑）。大長編ドラえもんで最終決戦に全員がそろわない作品は珍しいのではないのでしょうか。なんなら最終決戦にドラえもん・のび太・しずかちゃんは参戦するもののドラえもんは剣で戦うだけで最後はしずかちゃんのビッグライ

トで決着がつきます。なぜ全員がそろっていないのか？オドロームたちに捕らえられたのび太以外の全員が処刑される…というところでのび太のパパが夢と現実を入れ替える「隠しボタン」で「夢幻三剣士の世界を夢世界」に戻してしまい、現実世界でのび太がみんなに夢世界に来れる発信機を外すように伝えたからです。しずかちゃんはお風呂に入っていたため外さなかったため再び夢世界に来たのです。

夢と現実が入れ替わる、楽しそうでちょっと怖いですよ。のび太以外がオドロームに捕まり処刑されるところで夢が覚め処刑は免れる…わけですが、気になるのは夢が覚めたのは「パパが隠しボタンを押し、夢と現実が入れ替わったから」です。説明を省きましたが、冒険途中でドラえもんは隠しボタンで「夢世界を現実、今までの現実を夢世界」にしています（詳しくは原作を読んでください）。ではもしパパが隠しボタンを押さず夢から覚めなかったら？そのまま処刑されてしまえば夢見る機を終了した時に現実世界には存在できないのでは…？

■夢？それとも現実？

もうひとつ気になるのは処刑寸前で夢から覚める、次に夢世界に行ったときはオドロームの侵略が進んでいたことです。妖精シルクは「夢からさめたあなたたちはいいわよ。のこされたひとたちはどうなるの」と再び剣士になるよう勧めてきます。とうことはやはり処刑寸前で夢世界から目が覚めているので、夢世界での剣士たちは姿を消した…？再び入った夢世界ではオドロームが「気がかりなのは白銀の剣士のゆくえ。先日はあわやというところで消えうせたが…」と言っているのです、やはり夢世界から覚める＝姿を消すという認識であっているのでしょうか。ということはやはり夢世界で処刑されていたら…怖いですね。

ドラえもん（魔法使い）が遠くへ行ってたほうきが帰ってきたときに泣きながら「おー、よしよし。いい子だいい子だ！！ぼくをさがして何千里…くろうしたんだろうね」といってほうきをよしよしする場面、可愛いんですよ…ドラえもんは道具に愛情を注いでいますね。南極カチコチ大冒険のたずね人ステッキへの愛情もすばらしいですからね。

■説明書の注意事項はちゃんと読みましょう

「夢幻三剣士」のカセットに存在するトリホー（はじめにのび太に木の実を渡した老人）が現実世界に出てきたのもおかしな話ですね。なぜのび太が夢見る機でカセットを使う前に存在していたのか？のび太の帰宅時にドラえもん宛に夢幻三剣士のDMが届いていたのは偶然？夢見る機自体は危険ではないと思うのですが、カセットが怖いものありそうですよね。22世紀の消費者庁、ちゃんとしてほしいですね。いや、個人で気をつけないといけないのかもしれない。パソコンやテレビ、マンガが悪くないように使う人のリテラシー

力でもあるかもしれませんね。

夢幻三剣士、そろそろリメイク映画するかなと思うんですよ。宝島の自作予想で、夢幻三剣士かブリキの迷宮がくると思ったのですが、違いました。新恐竜でした。楽しみにしています。八鍬監督、夢幻三剣士のリメイクお待ちしております。

のび太の夢幻三剣士、ぜひご一読ください。

注…作中ではほとんど「ノビタニヤン」など夢世界での呼び名ですが、本稿では読みやすさを優先し現実世界の「のび太」の呼び名で記述しています。

参考…映画ドラえもんオフィシャルサイト(©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK) <https://dora-movie.com/top.html> (2019.11.4)

藤子・F・不二雄『大長編ドラえもん 14 のび太と夢幻三剣士』,1994年

いやん!

